

## 協会記事

### 理事会（平成 19 年度第 1 回）

平成 19 年 5 月 7 日（月）17:30 ~ 20:50、当協会役員室において開催。

出席者：前島郁雄（会長）、盛谷智之（副会長）、大森博雄（副会長）、江藤哲人、笠原順三、高村弘毅、田村俊和、西田耕一、長谷紘和、三上岳彦の各理事、田邊 裕、嶋崎吉彦の両監事、および事務局。

#### ・議事録の承認

平成 18 年度第 6 回理事会議事録は承認された。

#### ・報告事項：

#### 1. 編集委員長報告：笠原理事

地学雑誌 115 巻 6 号が 4 月に 4 ヶ月遅れで発行されたこと、および 116 巻 1 号以降 4 号までの予定が報告された。さらに小特集「二酸化炭素の地中貯留」、特集号「GIS（地理情報システム）」の計画も報告された。現在手持ちの投稿論文は論説・短報など 11 編である。

また前回報告された「オンラインジャーナル検討小委員会」を「地学雑誌 HP 検討ワーキング」と改称（宮内副編集委員長が担当）、その業務内容を決めたこと、「著作権検討小委員会」において、「著作権譲渡同意書」ほかの書類を作成中であることなどが報告された。

#### 2. 行事委員長報告：三上理事

4 月 7 日開催の特別見学会（日光）は、20 名（内外国人 10 名）の参加を得て無事終了したことが報告された。関連して IGU 役員会関連事業についても報告があり、担当した田邊 IGU 副会長から協会の協力に対する謝辞が述べられた。

#### 3. 図書委員長報告：江藤理事

オンラインジャーナル化された外部からの寄贈雑誌（1 誌）の受入を止めた件が報告された。

#### 4. 会館委員長報告：盛谷理事

4 月 30 日に発生した外壁の一部剥落とその修復方針、および私道と区道の境界確定に伴い発生した協会敷地と区道の境界問題について報

告があった。

#### 5. 広報委員長報告：江藤理事

前回理事会までの議論に基づき再度改訂した「ホームページ運用規程（案）」について審議するよう提案する旨報告された。

#### 6. 助成委員長報告：大森理事

4 月 27 日に開催された委員会において審査した結果が報告された。研究・調査助成は申請 11 件のうち 7 件、研究集会援助は申請 3 件すべてに対し、一部金額を減額したものはあるが、合計 4,576 千円を助成するという案が報告された。

#### 7. 将来計画委員長報告：田村理事

地球惑星科学連合の評議会に会長代理として出席する件、および来年度大会に向け参加の可否を含め検討したいと報告があった。

#### 8. 庶務委員長報告：長谷理事

職員 1 名が 4 月から職務に復帰した件、および IYPE に関し、日本委員会委員が来館し、当協会に対し協力を求めた件などが報告された。

#### 9. その他

田邊監事から地理関連学会連合および人文地理学関連学会連携協議会の現状と今後の方向について情報提供があり、前者は解散したが、後者については未定で、引き続き田邊監事が担当を引き受けることとなった。

#### ・議題：

#### 1. 会員の入退会について

入会申込者：岡田俊裕の入会が承認された。

会費滞納者の現状が報告され、長期にわたる 8 名を退会扱いにすることが了承された。

#### 2. ホームページの運用規程について

前回提案された運用規程（案）の一部を修正した案が提案され、議論の後、承認された。

#### 3. 役員・評議員選挙結果について

長谷理事から 4 月 6 日に開票された選挙の結果、推薦候補全員が当選したことが報告され、承認された。

#### 4. 平成 19 年度助成対象の決定について

審査基準や分野ごとの配分比についての意見

はあったが、大森助成委員長からの報告どおりに決定された（別紙参照）。

5. 平成 18 年度事業報告・決算および監査報告について

平成 18 年度事業報告案は、一部を修正の上、承認された。また監査法人による 18 年度決算の監査結果として、適正に処理されていて問題はなかったと報告された。さらに嶋崎監事による内部監査結果も報告され、いずれも承認された。今後の問題として、現在監査を依頼している監査法人が業務を止めるため、その後の方針について報告がありました承された。

6. その他

2014 年、IGU 地域会議を京都で開催するにつき、招致委員会委員を出す要請が主催者からあり、総会後に具体的人選をすると回答したことが、会長から報告され承された。

【別紙】

平成 19 年度助成金等交付先一覧

・研究・調査助成金

1. 松浦旅人（産総研）：「十和田平安噴火で生じた火砕流の定置温度および冷却過程」  
(49 万 6 千円)
2. 上野勝美（福岡大）：「ウクライナ、ドネツ炭田における上部石炭系 Bashkirian-Moscovian 境界」  
(50 万円)
3. 上田誠也（東海大）：「フィリピン・タール火山の火口湖磁気測量による噴火機構の研究」  
(50 万円)
4. 守屋和佳（金沢大）：「白亜紀中期・セノマニアン/チューロニアン境界の絶滅事変時における有孔虫化石群組成の超高解像度解析」  
(50 万円)
5. 刈谷愛彦（千葉大）：「北アルプス・白馬大雪渓における落石および雪面滑走礫のモニタリング」  
(50 万円)
6. 高野武男（私設研）：「新潟・長野西県境の関田山脈と飯山盆地の形成に関する造地形運動の解析」  
(50 万円)
7. 寺園淳子（東京大）：「日本とオランダにおける地下水、湧水の水質の比較研究」(48 万円)

・国際研究集会援助金

1. 山崎晴雄：「国際シンポジウム アジア・西太平洋の第四紀 環境変化と人間」  
11 月，産総研 (50 万円)
2. 平野弘道：「第 7 回国際頭足類シンポジウム」  
9 月，北海道大 (30 万円)
3. 荒牧重雄：「第 5 回火山都市国際会議」  
11 月，島原市 (50 万円)